

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第3区分
 【発行日】令和7年6月12日(2025.6.12)

【公開番号】特開2024-94552(P2024-94552A)
 【公開日】令和6年7月10日(2024.7.10)
 【年通号数】公開公報(特許)2024-128
 【出願番号】特願2022-211174(P2022-211174)
 【国際特許分類】
 G 0 6 F 3 / 0 4 8 4 (2 0 2 2 . 0 1)
 【 F I 】
 G 0 6 F 3 / 0 4 8 4

10

【手続補正書】
 【提出日】令和7年6月4日(2025.6.4)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

チュートリアルに含まれる複数の手順のうち、所定の手順でユーザーが情報を入力すべき入力対象項目を示すとともに、前記入力対象項目に入力すべき情報であるコピー対象のコピーの指示を受け付けるコピーアイテムを表示するように制御する表示制御手段と、
 前記コピーアイテムが操作されたことに応じて前記コピー対象をコピーし、
 前記入力対象項目に対してペーストの操作がされたことに応じて、前記コピー対象を前記入力対象項目に入力するように制御する制御手段と、
 を有することを特徴とする情報処理システム。

【請求項2】

前記表示制御手段は、前記チュートリアルのうち前記所定の手順では前記コピーアイテムを表示するように制御し、前記チュートリアルのうち前記所定の手順ではない第2の手順では前記コピーアイテムを表示することなく、入力対象項目に入力すべき内容のガイダンスを表示するように制御することを特徴とする請求項1に記載の情報処理システム。

30

【請求項3】

前記所定の手順は、前記チュートリアルのうち、入力対象項目に入力すべき情報としての入力すべき文字列の文字数に基づく条件を満たす手順であること
 を特徴とする請求項2に記載の情報処理システム。

【請求項4】

前記制御手段は、ユーザー操作に応じて、前記入力対象項目に対して前記コピー対象と異なる情報を入力するように制御することも可能であることを特徴とする請求項1に記載の情報処理システム。

40

【請求項5】

前記制御手段は、前記入力対象項目に対して入力された情報に基づいて、チュートリアルの対象のソフトウェアの実際の機能を実行するように制御することを特徴とする請求項1に記載の情報処理システム。

【請求項6】

チュートリアルに含まれる複数の手順のうち、所定の手順でユーザーが情報を入力すべき入力対象項目を示すとともに、ガイド領域に、前記入力対象項目に入力すべき情報であ

50

るコピー対象を表示するように制御する表示制御手段と、

前記コピー対象を選択してコピーを指示する操作がされたことに応じて前記コピー対象をコピーし、

前記入力対象項目に対してペーストの操作がされたことに応じて、前記コピー対象を前記入力対象項目に入力するように制御する制御手段と、

を有することを特徴とする情報処理システム。

【請求項 7】

チュートリアルに含まれる複数の手順のうち、所定の手順でユーザーが情報を入力すべき入力対象項目を示すとともに、スキップアイテムを表示し、ガイド領域に、前記入力対象項目に入力すべき内容のガイダンスを表示するように制御する表示制御手段と、

前記入力対象項目に対してユーザーからの入力操作があった場合には、前記ユーザーから入力された内容を前記入力対象項目に入力して前記チュートリアルのうち次のステップへ進むように制御し、

前記スキップアイテムが操作された場合は、前記入力対象項目に対するユーザーからの入力操作がなくとも、所定の内容を前記入力対象項目に入力して前記チュートリアルのうち次のステップへ進むように制御する制御手段と、

を有することを特徴とする情報処理システム。

【請求項 8】

前記制御手段は、前記スキップアイテムが操作された場合、前記入力対象項目に前記所定の内容が入力された状態を表示した後に前記次のステップへ進むように制御すること

を特徴とする請求項 7 に記載の情報処理システム。

【請求項 9】

前記制御手段は、前記スキップアイテムが操作された場合、前記入力対象項目に前記所定の内容が入力された状態を所定時間表示した後に前記次のステップへ進むように制御すること

を特徴とする請求項 7 に記載の情報処理システム。

【請求項 10】

前記表示制御手段は、前記チュートリアルに含まれる複数の手順において前記スキップアイテムを同一の位置に表示するように制御すること

を特徴とする請求項 7 に記載の情報処理システム。

【請求項 11】

前記表示制御手段は、前記スキップアイテムを前記入力対象項目の位置にかかわらず位置に表示するように制御すること

を特徴とする請求項 7 に記載の情報処理システム。

【請求項 12】

前記表示制御手段は、前記スキップアイテムを前記ガイド領域の位置にかかわらず位置に表示するように制御すること

を特徴とする請求項 7 に記載の情報処理システム。

【請求項 13】

前記制御手段は、ユーザー操作に応じて、前記入力対象項目に対して前記所定の内容と異なる情報を入力するように制御することも可能であること

を特徴とする請求項 7 に記載の情報処理システム。

【請求項 14】

前記制御手段は、前記入力対象項目に対して入力された情報に基づいて、チュートリアルの対象のソフトウェアの実際の機能を実行するように制御すること

を特徴とする請求項 7 に記載の情報処理システム。

【請求項 15】

チュートリアルに含まれる複数の手順のうち、所定の手順でユーザーが情報を入力すべき入力対象項目を示すとともに、前記入力対象項目に入力すべき情報であるコピー対象のコピーの指示を受け付けるコピーアイテムを表示するように制御する表示制御ステップと

10

20

30

40

50

、
前記コピーアイテムが操作されたことに応じて前記コピー対象をコピーし、
前記入力対象項目に対してペーストの操作がされたことに応じて、前記コピー対象を前記入力対象項目に入力するように制御する制御ステップと、
を有することを特徴とする情報処理システムの制御方法。

【請求項 16】

チュートリアルに含まれる複数の手順のうち、所定の手順でユーザーが情報を入力すべき入力対象項目を示すとともに、ガイド領域に、前記入力対象項目に入力すべき情報であるコピー対象を表示するように制御する表示制御ステップと、

前記コピー対象を選択してコピーを指示する操作がされたことに応じて前記コピー対象をコピーし、

前記入力対象項目に対してペーストの操作がされたことに応じて、前記コピー対象を前記入力対象項目に入力するように制御する制御ステップと、

を有することを特徴とする情報処理システムの制御方法。

【請求項 17】

チュートリアルに含まれる複数の手順のうち、所定の手順でユーザーが情報を入力すべき入力対象項目を示すとともに、スキップアイテムを表示し、ガイド領域に、前記入力対象項目に入力すべき内容のガイダンスを表示するように制御する表示制御ステップと、

前記入力対象項目に対してユーザーからの入力操作があった場合には、前記ユーザーから入力された内容を前記入力対象項目に入力して前記チュートリアルのうち次のステップへ進むように制御し、

前記スキップアイテムが操作された場合は、前記入力対象項目に対するユーザーからの入力操作がなくとも、所定の内容を前記入力対象項目に入力して前記チュートリアルのうち次のステップへ進むように制御する制御ステップと、

を有することを特徴とする情報処理システムの制御方法。

【請求項 18】

少なくとも1つのコンピュータを、請求項 1 乃至 14 のいずれか 1 項に記載された情報処理システムの各手段として機能させるためのプログラム。

10

20

30

40

50